

ウィーンへの誘いもあと2日!

●気持ちは既に来年へ!

昨日の午後は、週末に迫った「音楽の都ウィーンからの贈り物」のゲネプロ(通し稽古)でした。出演者の富田千種様(バリトン)、本田ゆり子様(ソプラノ)、白取晃司様(ピアノ)のお三方と一緒に舞台上で進行のチェックをさせていただきました。

当日は春日部高校の生徒さんに司会進行をお願いすることになっており、今、シナリオを修正しているところです。



今回、お申し込みをいただいた多くの方々からも、「とても素晴らしい選曲ですので、たいへん楽しみです。」というお話をいただき、実際にホールで聞かせていただくと全体構成の面白さと成功の手応えを感じました。既に当日スタッフへのタイムスケジュールも配布し、段取り八分という言葉があるように、ここまでくれば当日は楽しく過ごせると思います。

今回のコンサートを開催するにあたり、さまざまな手配とご指導をいただいた富田様に改めて感謝申し上げます。

さて、今回のコンサートを第1回目として、「**来年はウィーン・フィルの演奏者を1人お招きしよう**」と富田様との間で話が発展しています。ウィーン・フィルの日本公演は申し込みが始まった時点でソールドアウトという状況ですので、中高生にとっても市民の方々にとっても嬉しい企画になるのではないかと期待しています。さあ、楽しみたいと思います!

* *

プログラム

シューベルト Franz Peter Schubert (1797-1828)
 「セレナーデ」(Serenade)
 「菩提樹」(Der Lindenbaum)
 「鱒」(Die Forelle)
 「至福」(Seligkeit)
 「野ばら」(Heidenröslein)

越谷達之介 (1909-1982) 「初恋」
 木下牧子 (1956-) 「さびしいかしの木」
 平井康三郎 (1910-2002) 「九十九里浜」

ロジャース Richard Rodgers (1902-1979)
 サウンドオブミュージックより
 「私のお気に入り」(My favorite things)
 「丘は生きている」(The Hills are alive)

ウィーン歌曲
 「ウィーン我が夢の街」(Wien, Wien nur Du allein)

ロッシーニ Gioachino Antonio Rossini (1792-1868)
 「猫の二重唱」(Cat duet Rossini)

----- 休憩 -----

モーツァルト Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)
 魔笛より
 「鳥刺しの歌」(Der Vogelfänger bin ich ja)

ヨハン・シュトラウス Johann Baptist Strauß (1825-1899)
 「春の声」(Frühlingsstimmen)

イタリア民謡
 「帰れソレントへ」(Torna a Surriento)

プッチーニ Giacomo Puccini (1858-1924)
 ジャンニ・スキッキより
 「私の愛しいお父さん」(O mio babbino caro)

スペイン民謡
 「グラナダ」(Granada)

ヴェルディ Giuseppe Verdi (1813-1901)
 椿姫より
 「ああ そはかの人か」(Ah, fors'è Lui)
 「プロバンスの海と陸」(Di Provenza il mar, il suol)
 「ヴィオレッタとジェルモンの二重唱」

2015年6月13日
 音楽の都ウィーンからの贈り物実行委員会